



2018年3月期第2四半期決算説明会

前岳（荒川小屋南から）



TOKUSHU
TOKAI
PAPER

特種東海製紙株式会社



目次

・ 会社概要	(p1)		
2018年3月期第2四半期連結決算概要		基盤事業の強化・変革（特殊素材事業）	
・ 第2四半期連結業績実績	(p2)	・ 特殊素材事業における基盤事業の強化・変革	(p10)
・ 営業利益の増減要因(第2四半期)	(p3)	・ 新型ガラス合紙の品質アップによるシェア拡大	(p11)
・ セグメント情報	(p4)	・ 当社特有の技術を使ったシート状物の開発 (TT-除染シート)	(p12)
2018年3月期通期連結業績見通し		・ 偽造防止用紙の新技術開発	(p13)
・ 2018年3月期連結業績見通し	(p5)	・ 工業用機能性シートの新規開発及び展開	(p14)
・ 営業利益の増減要因(通期見通し)	(p6)	・ ファンシーペーパーの新市場としての中国展開	(p15)
自己株式保有に関する基本方針		・ 保護紙の海外展開	(p16)
・ 自己株式保有に関する基本方針	(p7)	・ ガスエンジン設置によるコスト削減	(p17)
第四次中期経営計画		基盤事業の強化・変革（生活商品事業）	
・ 第四次中期経営計画における長期的成長 ロードマップ	(p8)	・ 生活商品事業における基盤事業の強化・変革	(p18)
基盤事業の強化・変革（産業素材事業）		・ ペーパータオルの品質及び競争力強化・ 新製品開発	(p19)
・ 産業素材事業における基盤事業の強化・変革	(p9)	・ ラミネート事業強化	(p20)
		・ トイレットペーパー事業の基盤強化	(p21)
		成長戦略	
		・ 成長戦略について	(p22)
		・ セルロースナノファイバー(CNF)の取り組み	(p23)
		・ セルロースナノファイバー[フィブリック(FIBLIC)]	(p24)
		環境関連分野	
		・ 環境関連分野	(p25)
		・ 社有林(南アルプス)関連	(p26)

会社概要

- 社名 特種東海製紙株式会社
- 本店所在地 静岡県島田市向島町4379番地
- 設立 2007年4月
- 代表者 代表取締役社長 社長執行役員 松田 裕司
- 資本金 11,485百万円
- 従業員数(連結) 1,430名(2017年3月)
- 事業内容 紙・パルプの製造、加工、販売
- 工場 三島、島田、岐阜

2018年3月期第2四半期 連結決算概要

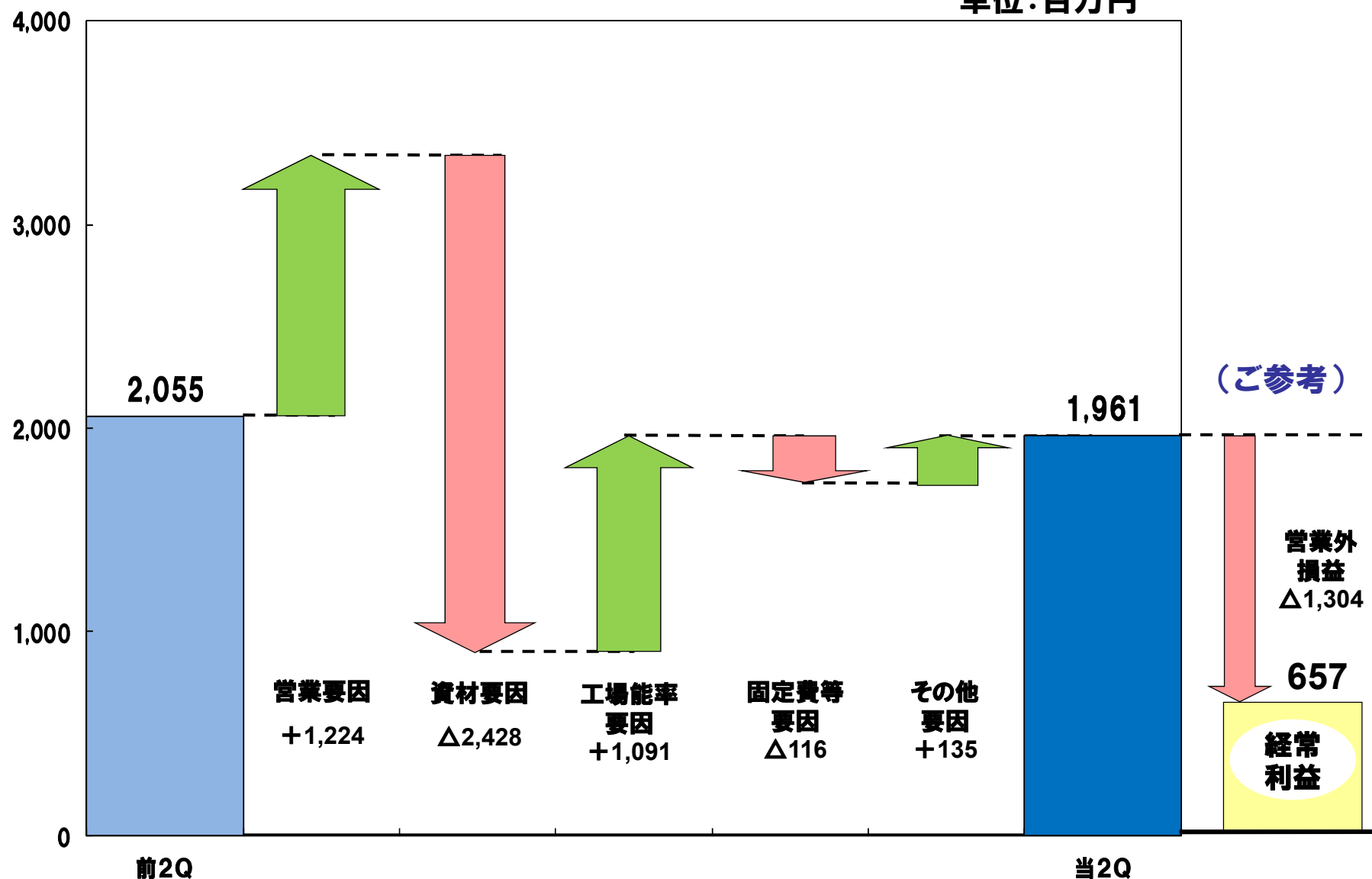
第2四半期連結業績実績

(単位:百万円)

	前2Q実績	当2Q実績	前年変化
売上高	38,435	39,727	1,292
営業利益	2,055	1,961	△94
経常利益	2,128	657	△1,471
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,515	360	△2,155
売上高 営業利益率	5.3%	4.9%	—

営業利益の増減要因(第2四半期)

単位:百万円



セグメント情報

単位:百万円

		前2Q実績	当2Q実績	増減
産業素 材事業	売上高	20,115	20,835	720
	営業利益	674	634	△40
特殊素 材事業	売上高	10,430	10,783	353
	営業利益	1,041	1,041	0
生活商 品事業	売上高	8,581	8,658	77
	営業利益	438	390	△48
そ の 他	売上高	1,797	2,409	612
	営業利益	1	1	0
消 去	売上高	△2,489	△2,959	△470
	営業利益	△100	△105	△5
合 計	売上高	38,435	39,727	1,292
	営業利益	2,055	1,961	△94

2018年3月期 通期連結業績見通し

2018年3月期連結業績見通し

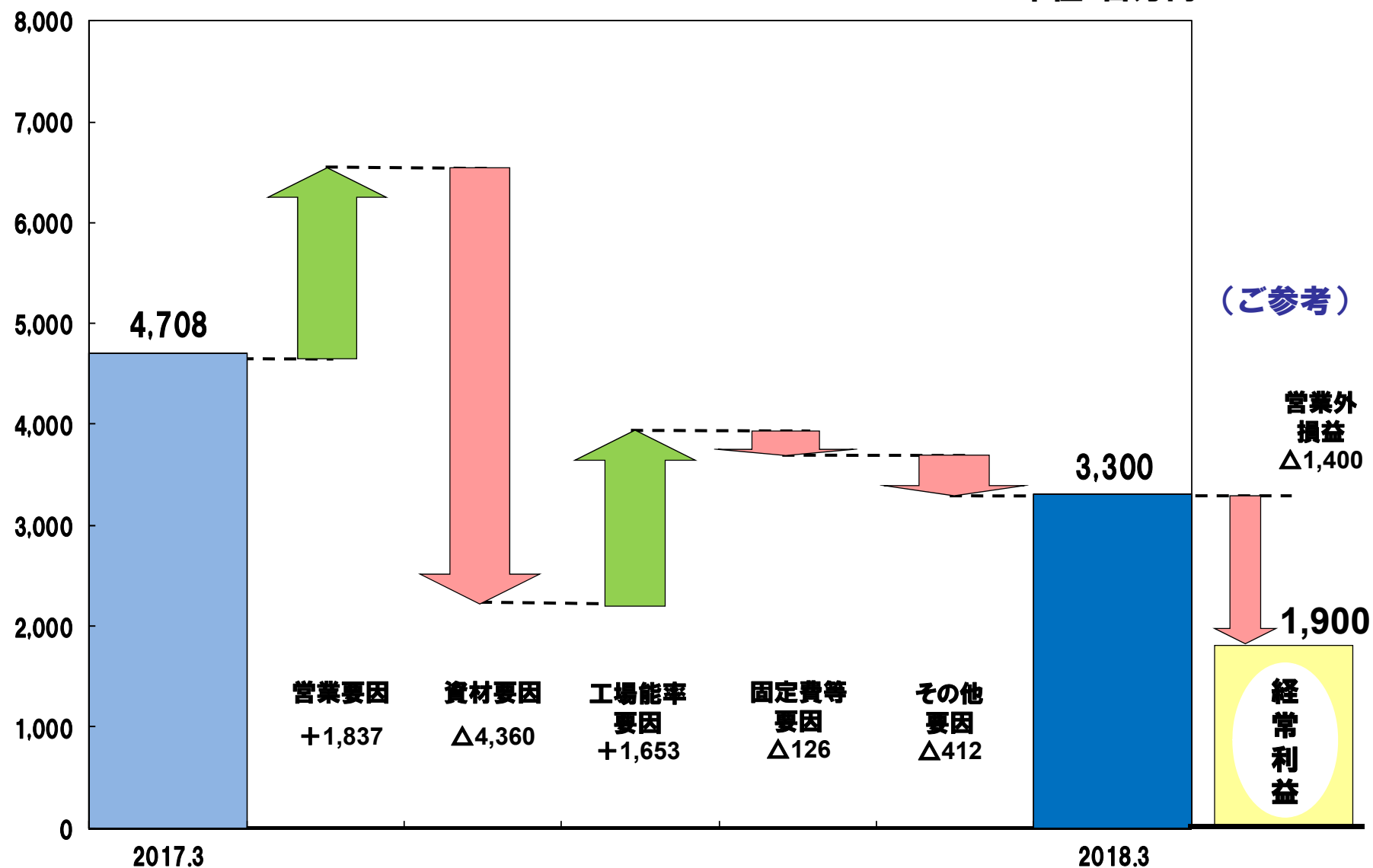
(単位:百万円)

	前年実績	通期見通し	前年変化
売上高	77,718	78,400	682
営業利益	4,708	3,300	△1,408
経常利益	5,075	1,900	△3,175
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,852	1,000	△2,852
売上高 営業利益率	6.1%	4.2%	—

前提 為替レート 110円/US\$
 原油価格(ドバイ) 50\$/B

営業利益の増減要因(通期見通し)

単位:百万円



自己株式の保有等に関する基本方針

自己株式の保有等に関する基本方針

自己株式の取得に関する基本方針

株主に対する利益還元を経営の重要施策と位置付けて、安定配当を維持しながら、自己株式取得による利益還元も総還元性向を総合的に勘案した上で実施。

自己株式の取得

- ・ 8月10日の終値4,280円にて自己株式1,032千株(44億円)を取得。
- ・ 自己株式数1,426千株 ⇒ 2,458千株
- ・ 持株比率 8.73% ⇒ 15.06%

自己株式の保有及び消却に関する基本方針

- ・ M & Aや業務資本提携等を実施するため一定の自己株式を保有する。
- ・ 希薄化懸念を払拭できるよう10%程度を上限とし超過する部分は消却を検討。

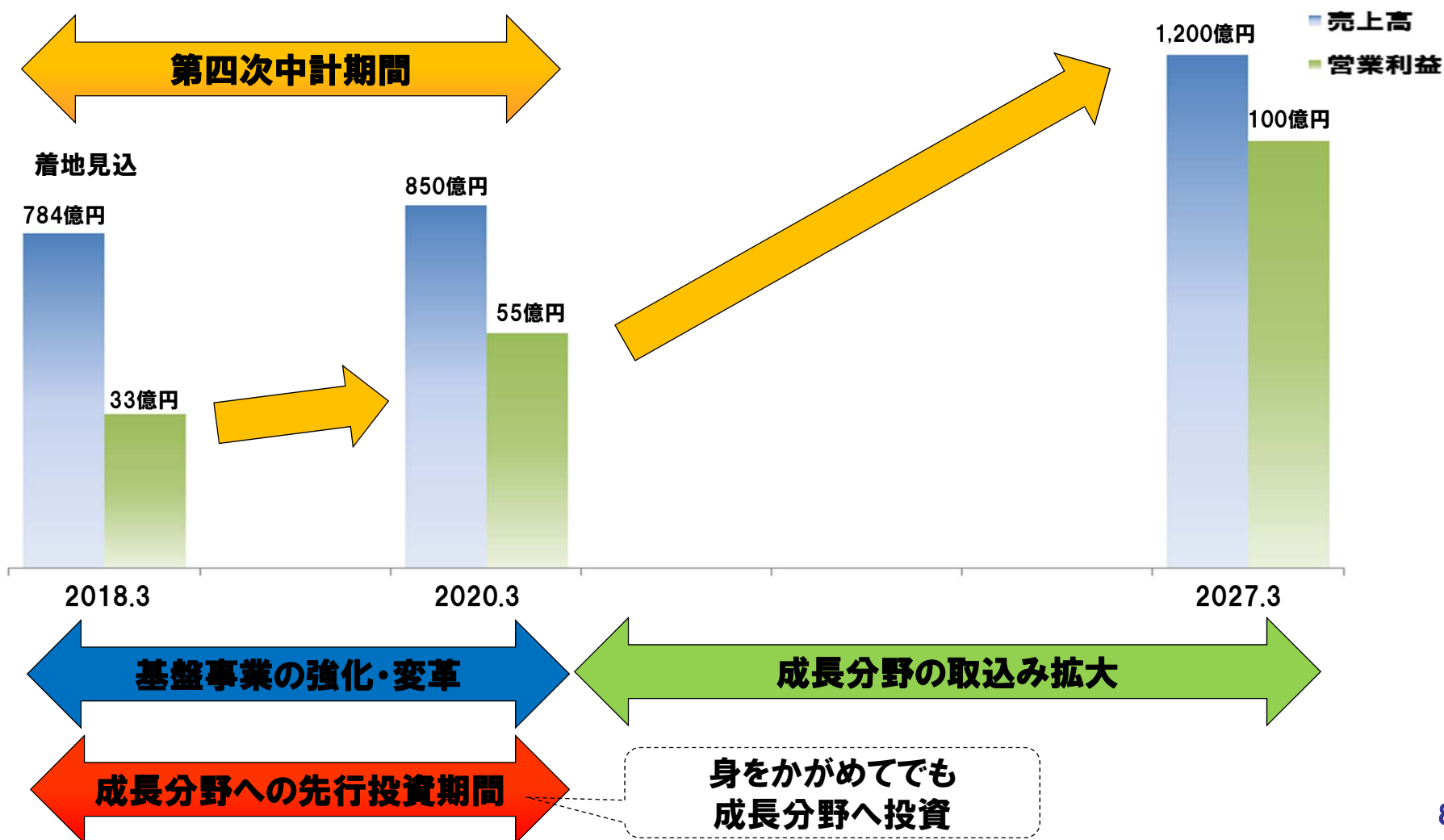
自己株式の消却

- ・ 11月の取締役会にて自己株式917,751株の消却を決議。
- ・ 自己株式数2,458千株 ⇒ 1,540千株
- ・ 持株比率 15.06% ⇒ 10.00%

第四次中期経営計画(NEXT 10) (2017年度～2019年度)

当社の将来技術NaSFAに基づいて技術と品質の差別化を
推進してオンリーワンカンパニーを目指す

第四次中期経営計画における 長期的成長ロードマップ



基盤事業の強化・変革

産業素材事業
特殊素材事業
生活商品事業

産業素材事業における基盤事業の強化・変革

基盤事業の強化・変革

- **新東海製紙のコスト削減に伴う競争力強化**

⇒(例)バイオマスボイラー(12B)稼働に伴う購入電力の削減

購入電力減等変動費削減	16億円
12B稼働に伴う固定費増加	△12億円
コスト削減効果	4億円／年

- **日本製紙(株)との段ボール原紙・クラフト紙事業の提携(シナジーの追求)**

 - 本提携事業における島田工場の一層の活性化
 - ⇒ 工場能率の改善等 本年度シナジー効果発動金額4億円／年
 - UKP(クラフトパルプ)の有効活用
 - UKPの増産(3Kの生産 前年同期比 日産7%増)
 - UKPを使つての品質の差別化
 - 流出原料削減、黒液濃度アップ、操業・コストに関するノウハウ共有、交錯物流削減等

- **新販社 日本東海インダストリアルペーパーサプライ(株)(NTI)を通じての業界内でのプレゼンスの向上**

⇒ 段ボール原紙シェア 提携前当社単独 6% 提携後NTI 18%程度
 今回の値上げについてもしかるべきタイミングで表明。

特殊素材事業における基盤事業の強化・変革

基盤事業の強化・変革

新製品の開発と製品構成の見直し

- ・ 新型ガラス合紙の品質アップによる更なるシェア拡大
- ・ 塗工技術等、当社特有の技術を使ったシート状物の開発
- ・ 偽造防止用紙の新技术開発
- ・ 工業用機能性シートの新規開発及び展開
- ・ ファンシーペーパーの新市場としての中国展開
- ・ 保護紙の海外展開

製造工程の見直し、改善

- ・ ガスエンジン設置によるコスト削減

新型ガラス合紙の品質アップによるシェア拡大

ガラス合紙の環境

- ・ 今後の世界経済の成長に伴い液晶パネルの面積需要は増加する。
- ・ 特にアジア及びインドを中心として面積需要は年率+5%程度を見込む。
- ・ 液晶パネルの生産拠点は中国にシフトしつつある。
(生産の中心は、日本⇒台湾・韓国⇒中国へと移りつつある。)
- ・ 中国企業は製品の歩留まりを重視しており、ガラス合紙の品質に対する要求水準も高い。

対応

- ・ μm レベルの微小異物を取り除く技術の確立による更なるクオリティアップを図り、世界シェアの拡大を目指す。



当第2四半期売上高は前年同期を上回り

現在も好調を維持している。

当社特有の技術を使ったシート状物の開発

TT-除染シート導入状況（実証試験を含む）

特殊素材

NaSFA

内容

- ・ 放射能汚染地域の復興への貢献のため、放射性物質を吸着するシートを開発。
- ・ 不織布間に特殊ゼオライトを散布、セシウムおよびストロンチウム除去率が95%以上。
- ・ 縫製、プリーツなど用途に応じた形状に加工可能。

状況

- ① **株式会社アトックスと新規汚染水処理用フィルターを共同開発。**
セシウムの吸着効率の向上 および 電力会社への導入を目指す。
- ② 最終処分場 漏出防止シート、汚染水処理用フィルターとして**導入累計5,000㎡を突破。**
- ③ 中間貯蔵向け漏出防止シートへの採用を目指し、3～5万㎡の売上を目標とする。



カートリッジフィルター

ユニットフィルター

偽造防止用紙の新技術開発 オリンピック及び海外に向けた取り組み

特殊素材

NaSFA

オリンピック

- 2020年東京オリンピックでのAD証、チケット類などの獲得をめざす。
- 商権獲得のため、技術のブラッシュアップ、新規技術開発の検討を継続。
- 日本での開催を意識し、和の意匠性と偽造防止効果の両立を目指す。

海外偽造防止用紙

- パスポート用紙や海外紙幣をターゲットとした新チャンネルの開拓。
- 海外ハイセキュリティ技術の導入に加え、更なる新規技術の開発。
- 販路構築のため、海外カンファレンスなどを通じた海外での当社知名度向上、さらにエージェントを活用した販売ルート of 構築を模索。

工業用機能性シートの新規開発及び展開

特殊素材

NaSFA

内容

- ・『ガラス合紙』の開発で培った、 μm レベルの微小異物を除去し、クリーンに設計されたシート
- ・『工業用機能紙』の開発で培った、多種多様の特別な“種”で設計された高機能なシート

微小異物除去技術

◎ 工程紙

- ・ 二次電池 (製品化)
- ・ LED (発光ダイオード) (製品化)
- ・ パソコンハードディスク用レンズ (製品化)
- ・ 特殊PS版合紙 (製品化)
- ・ 光電子光学 (開発中)

◎ 支持体

- ・ クリーンルーム用フィルターセパ (製品化)
- ・ 新規膜 (開発中)

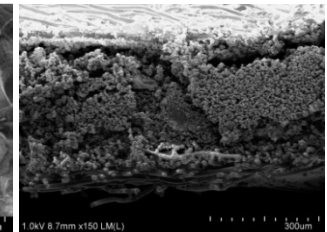
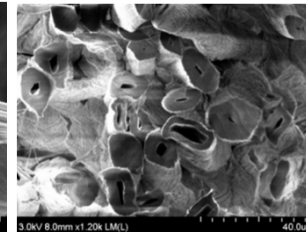
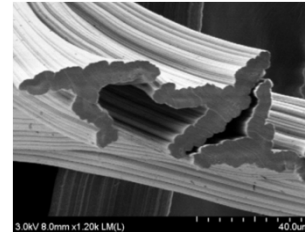
特別な“種”のシート化

◎ 化学繊維・粉体・薬品

- ・ インジェクション成形紙 (開発中)
- ・ エンプラフィルム工程紙 (開発中)
- ・ バイオチップ (開発中)
- ・ 低誘電率シート (開発中)

◎ 無機繊維・粉体

- ・ 汚染物吸着シート (開発中)
- ・ 工業用離型シート (開発中)



ファンシーペーパーの新市場としての中国展開

内容

- 中国向けに新たな独自ブランドを立ち上げ、中日特種紙Gの販売網を利用し、中国のハイエンド向け市場に切り込む。
- 顧客のニーズ、中国のデザイナーを有効活用した商品開発
- 想定される用途はパッケージ等。
- 一部上市は始まっており、今期いっぱいにて微修正を進め、4月のオープニング展覧会を皮切りに本格的アピール開始予定。

今後の展開

ブランド展開の開始

- 4月に上海にてオープニング展覧会を開催する予定。
- また、同月に開催されるラグジュアリーパッケージ展(LUXEPACK) にブース出展。

ウェブブランディングの推進

- 中国における主要SNSである「WeChat」の企業アカウントを取得しページを公開。
WeChatを窓口に、情報量の豊富なWebページと併せてブランディングを推進する。

保護紙の海外展開

(株)TTトレーディング

特殊素材

NaSFA

環境

活動

現在、中国では国を挙げて文化財保護の取組を実行。アジアを中心に市場が拡大している。拡大する市場を狙い、中国をメインターゲットとして海外展開に注力中。

使用例



納入実績

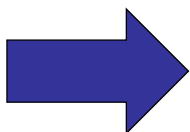
国内	中国	韓国	台湾
国立国会図書館 東京文化財研究所 国立公文書館 国文学研究資料館 東京国立博物館 東京大学	故宮博物院 国家博物館 国家図書館 上海市歴史博物館 南京博物院 新疆自治区博物館	国家記録院 国立中央博物館 国立民族博物館 国立ハングル博物館 韓国学中央研究院 水原博物館	国立故宮博物院 国立台湾師範大学

ガスエンジン設置によるコスト削減

特殊素材

概要

- ・ 特殊紙の主力工場である三島工場に、投資総額11億円(内、補助金3億円を予定)のガスエンジンを導入する。
- ・ ガスエンジン発電出力 7,800kw
- ・ 2018年12月 試運転開始予定



年間 約7,000tのCO₂を削減

効果

- ・ 都市ガス購入に伴うコスト増を考慮の上、年間1.2億円のキャッシュメリットを見込む。

生活商品事業における基盤事業の強化・変革

基盤事業の強化・変革

品質及びコスト競争力強化、新商品開発、営業力強化

(株)トライフ

- ・ 新タオルマシン(N1・N2)の能力を生かしたペーパータオルの品質及びコスト競争力強化と新商品開発
- ・ ラミネート事業強化による新商品開発と営業力強化

特種東海エコロジー(株)

- ・ トイレットペーパー事業の基盤強化

ペーパータオルの品質及び競争力強化・新製品開発

(株)トライフ

2台の新タオルマシン N1 N2

N1マシン

- 2015年2月 抄造開始
- 新商品“フォレス” ⇒ 2017年12月 販売開始
- 特徴： 低坪量化に対応しながらも木材パルプを配合し強度を確保。



N2マシン

- 2016年4月 抄造開始
- 新商品“トイレに流せる！ペーパータオル” ⇒ 2017年9月 販売開始
- 特徴： 濡れた手をふき取れる強度を確保しながらも水解性がありトイレに流せる。



ラミネート事業強化

(株トライフ)

生活商品

NaSFA

日本製紙とのコラボ
レーション

食品包材
菓子包材



バリア性

日本製紙“シールドプ
ラス”にトライフのラミ
技術を活用



食品用シート

防滑性

手術室床用シート



医療用シート向け加
工原紙を開発。タウ
パー部門商流を活用

粘着性

電気絶縁性

電機機械
エネルギー



建装材

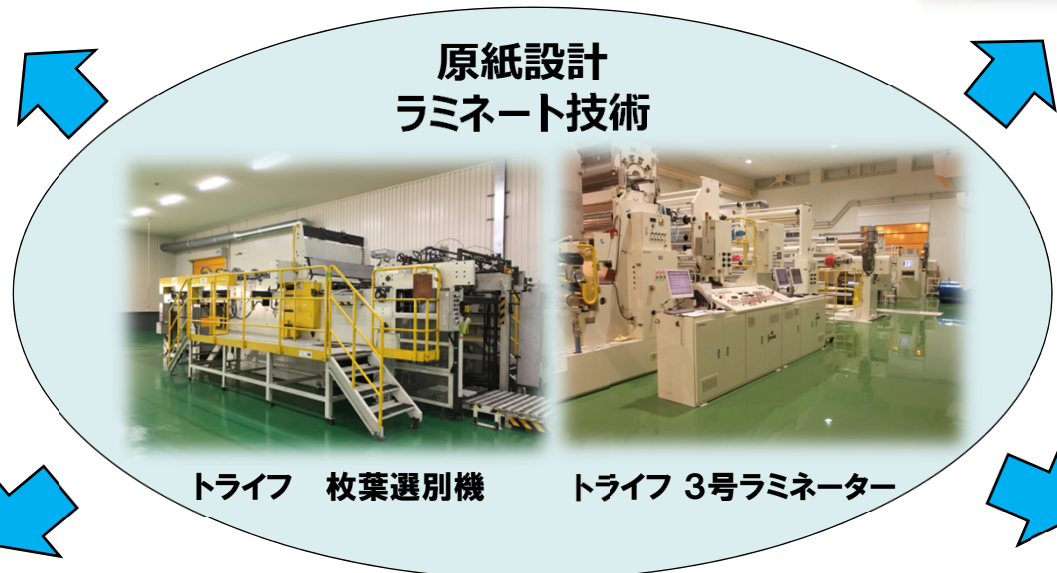


断熱性

2020年省エネ新基
準に向けて 建材メー
カー向けにウレタン素
材ラミ製品を開発

緩衝性

通販封筒



トイレトペーパー事業の基盤強化

(特種東海エコロジー(株))

生活商品

資本提携と基盤強化

- ・ 大王製紙OEM品を安定的に受託生産
(大王製紙とは業務・資本提携関係にあります。)(平成25年8月12日リリース)
⇒ 無理な市況品販売をせず工場を安定的に稼働。
⇒ 業績の安定(適正利益の確保)

変革と成長

利潤を設備等へ再投資

- ・ 設備投資例:原質整備投資、ワインダー投資 等
⇒ 品質強化と仕上げ能力増強に寄与
- ・ 通販向け商品の開発
⇒ きめ細かい対応が必要な通販向販路拡大を目指し各種対応を行う予定。



特種東海エコロジー
「エコロジープレミアム」



成長戦略



成長戦略について

(新規事業推進室の役割)

【テーマ創出】

30件超のテーマから約10件に絞り込み

興味の持てる分野を抽出 ⇒ 市場概要調査(意欲確認)
⇒ スクリーニング⇒ 実現可能性検討 ⇒ スクリーニング
⇒ テーマ化

新テーマを提案



短期～長期 期間分類



事業化推進

【既存取引の技術サポート】

・ガラス合紙 ・保護紙
・偽造防止用紙 ・圧着はがき 等

【事業推進】

・Fiblic 事業化
・FP 中国展開 等

短期(第4次中経)
2017～2019年

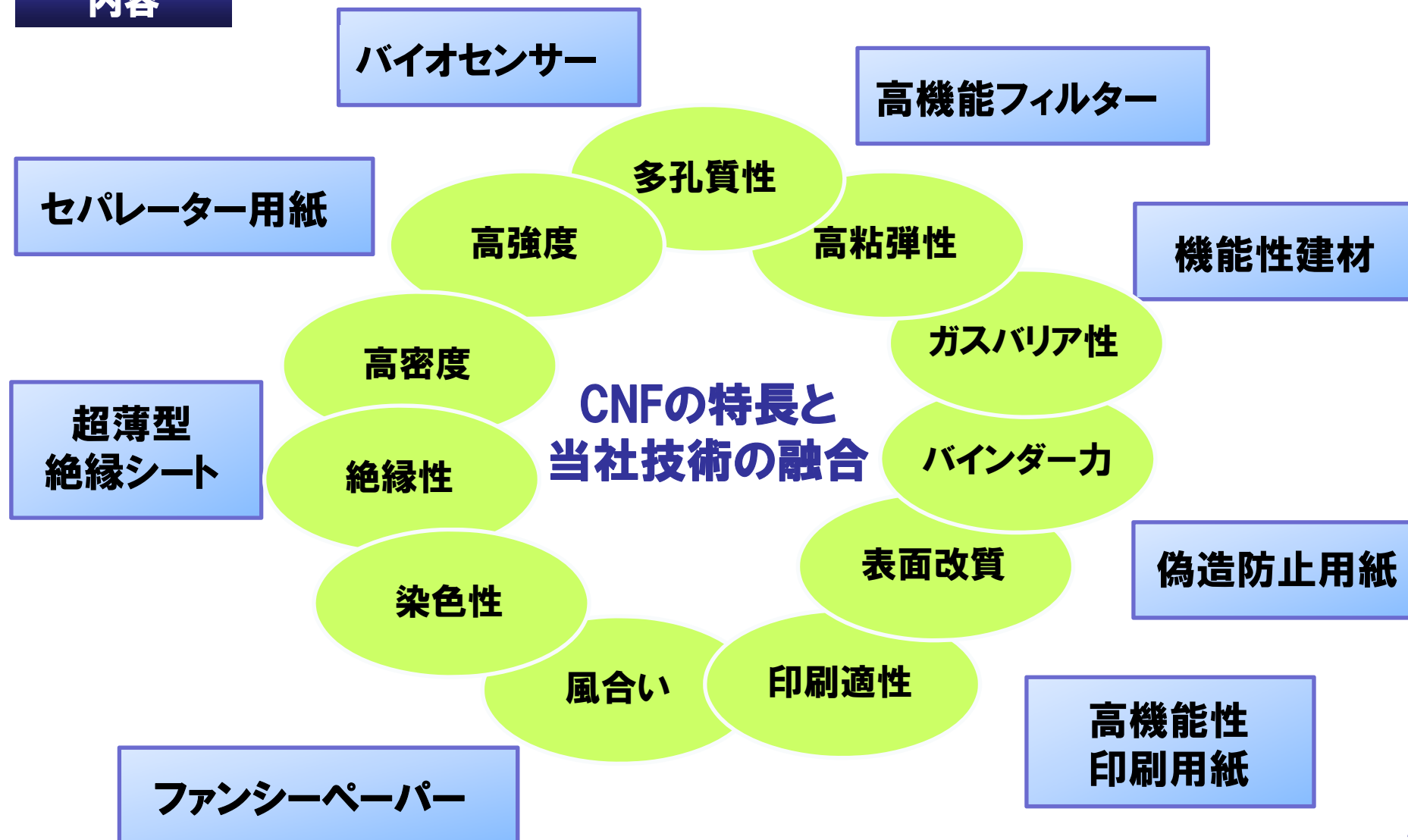
中期(第5次中経)
2020～2022年

長期(第6次中経)
2023年～

セルロースナノファイバー(CNF)の取り組み

NaSFA

内容



セルロースナノファイバー〔フィブリック (FIBLIC) 〕

(リチウムイオン二次電池用セパレータ)

NaSFA

内容

- ・ リチウムイオン二次電池用セパレータ(絶縁体)の開発に成功、特定のユーザーに高い評価を得ており、2018年度中の商品化を狙う。
- ・ セルロースナノファイバー(CNF)で作るシートにて微細孔を制御している。
- ・ フィブリックは高速充放電とデンドライト抑制のバランスに優れる。
- ・ 加えて、寿命特性においても良い結果が得られている。
- ・ 当社の工法は、将来に向けた更なる薄膜化にも適している。

今後の展開

- ・ 世界のEV市場は各社の競争激化が必至。
 - ・ 益々の安全性と大容量化の両立が求められている。
- よって、
- ・ 当社としてもユーザーの設計思想に合わせた開発が必要。
 - ・ 引続き早期の量産体制化に向け鋭意研究中。



フィブリック



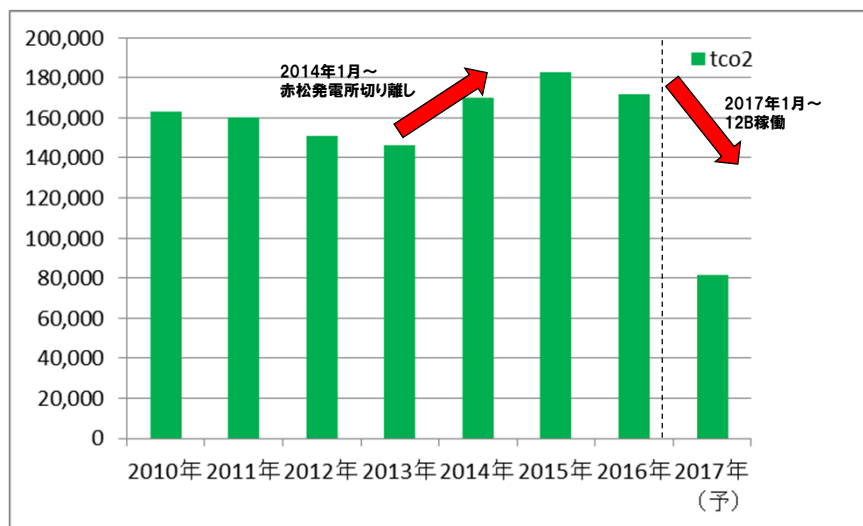
環境関連分野



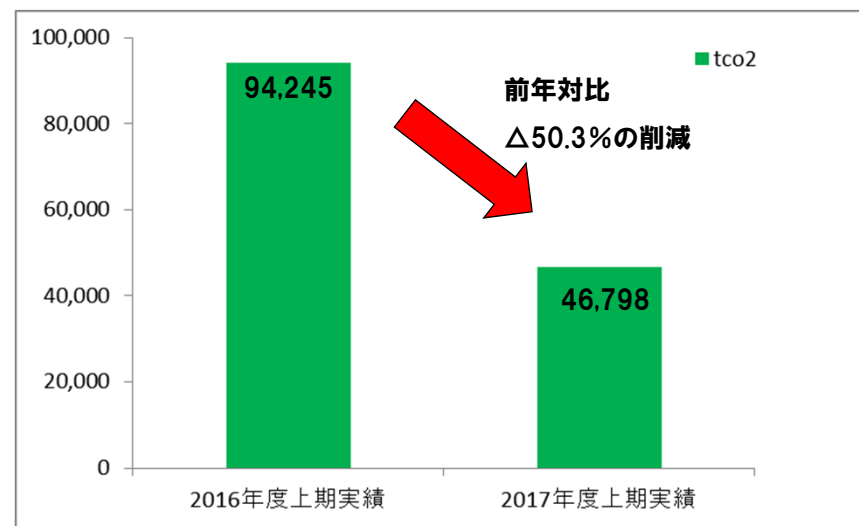
環境関連分野 (ESGを意識した取組へ)

概要

引き続きの利益追求を図りながらも同時に環境への配慮を推進
⇒例えばCO₂の削減等



島田工場 化石燃料由来CO₂排出量



島田工場 上期対比CO₂排出量

島田工場・・・赤松水力発電所の売電開始に伴い、一時的に買電増によるCO₂増加もあるも、バイオマスボイラー(12B)稼働によりCO₂大幅削減⇒2017年より

2017年度上期CO₂排出量約46千t ⇒ 前年同上期約94千tに対し半減

三島工場・・・2018年12月～ガスエンジン稼働効果によりCO₂大幅削減の見込

社有林(南アルプス)関連 (リニア工事の状況)

内 容

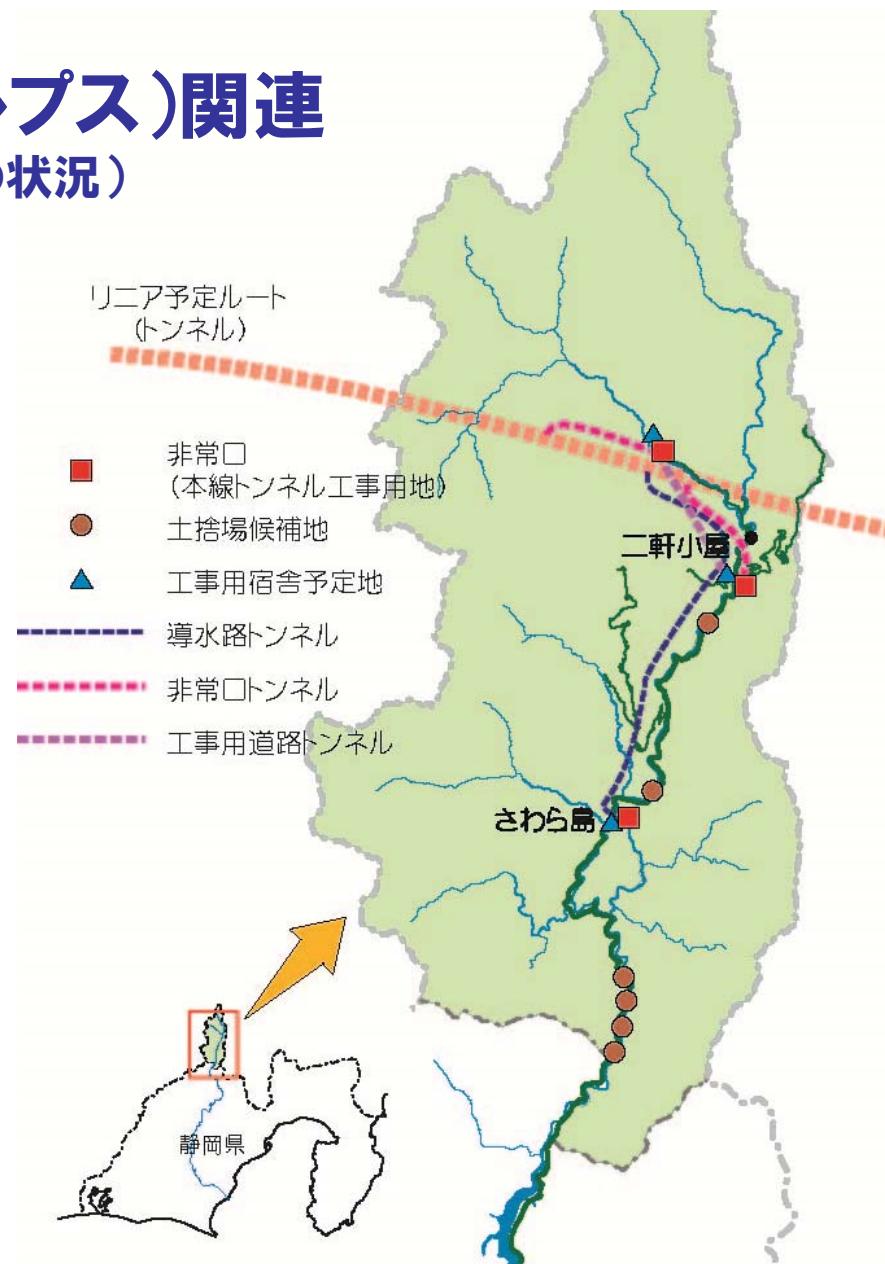
【JR東海の進捗状況】

- ・静岡県区間(当社社有林)は、すべて地下をトンネルで通過 (南アルプストンネル全長は25km 静岡工区は8.9km)
- ・社有林では、本線トンネル工事(8.9km)と導水路トンネル(11.5km)の工事が行われる計画
(JR東海は、導水路トンネル工事、本線トンネル工事について大成建設等の共同企業体と契約したと発表した。)
- ・地権者(当社)との合意は最終段階、利水者との話が進行中。

当社の対応

自然環境の保全 地域振興とユネスコエコパークへの協力

工事用地・宿舎用地・土捨場等提供および工事受注による当社収益への寄与



（ご参考） NaSFAについて

NaSFAとは

当社の商品開発に係る技術力を4つに分類したもの。
それぞれ以下の意味を表す。



① Na : Nano technology （ナノテクノロジーから広がる新たな可能性）
⇒紙の領域を超えたシート状物の開発

② S : Security （偽造防止技術によるグローバル展開）
⇒黒すかし技術、最新スレッド挿入技術等を用いた製品を投入
⇒2020年東京オリンピックでの採用に向けた新規要素技術の開発

③ F : Fusion （技術融合による新市場の創造）
⇒各事業部、関連会社の強みとなる差別化された技術を融合

④ A : Art （新規加工技術による挑戦）
⇒新加工技術による新たな機能付与とコストの削減



お問い合わせ先：財務・IR室

〒104－0028

**東京都中央区八重洲2－4－1
ユニゾ八重洲ビル**

Tel 03－3281－8581

Fax 03－3281－8591

本資料に掲載しております当社の計画および施策などは発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営判断に基づいております。様々なリスクおよび不確定要因により、実際の業績と異なる可能性がありますことを、予めご承知おきくださいますようお願い申し上げます。